

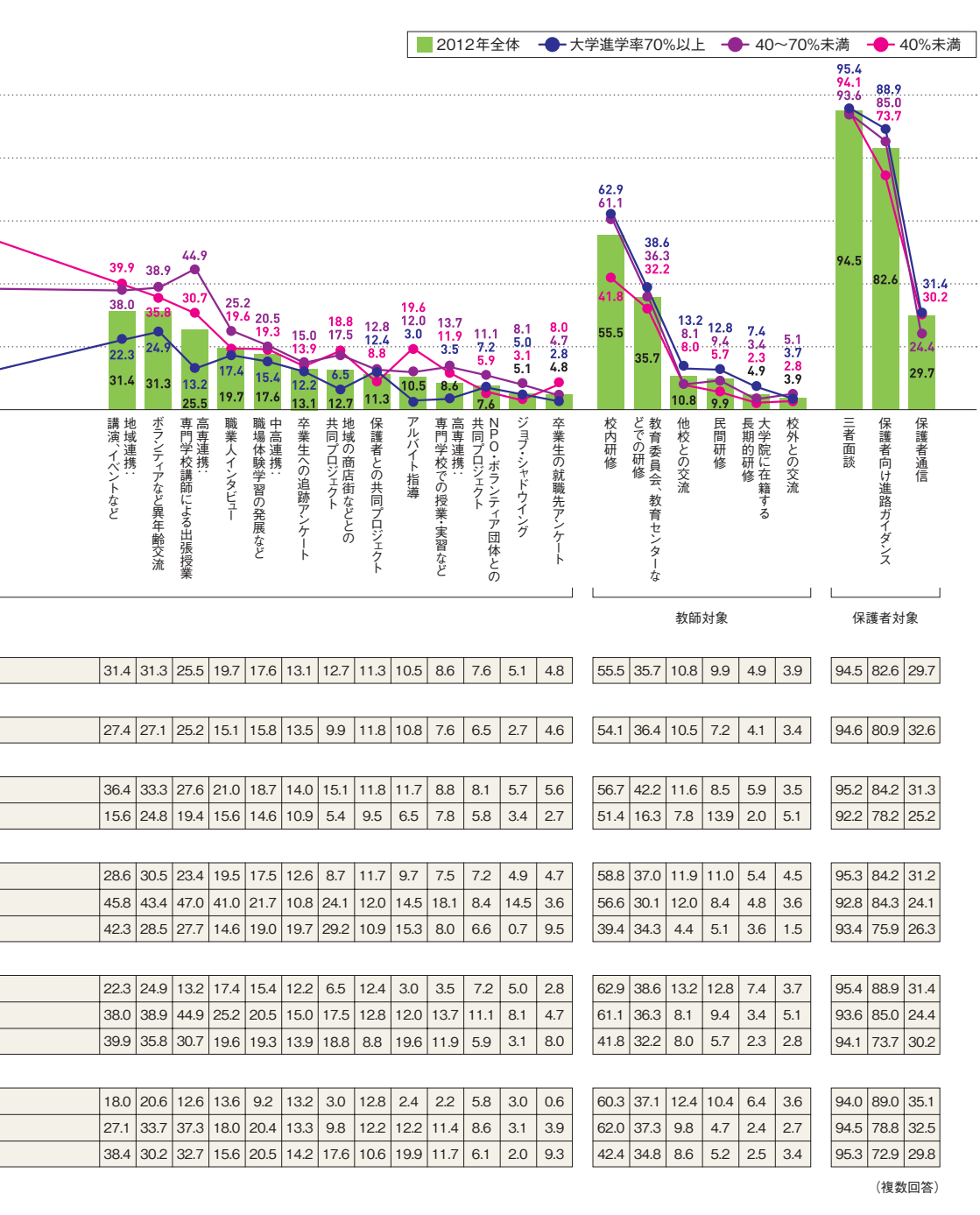
# Ⅱ

## 進路指導の内容

05

### 進路指導の取り組み状況

高大連携など外部とのコラボレーションが増加

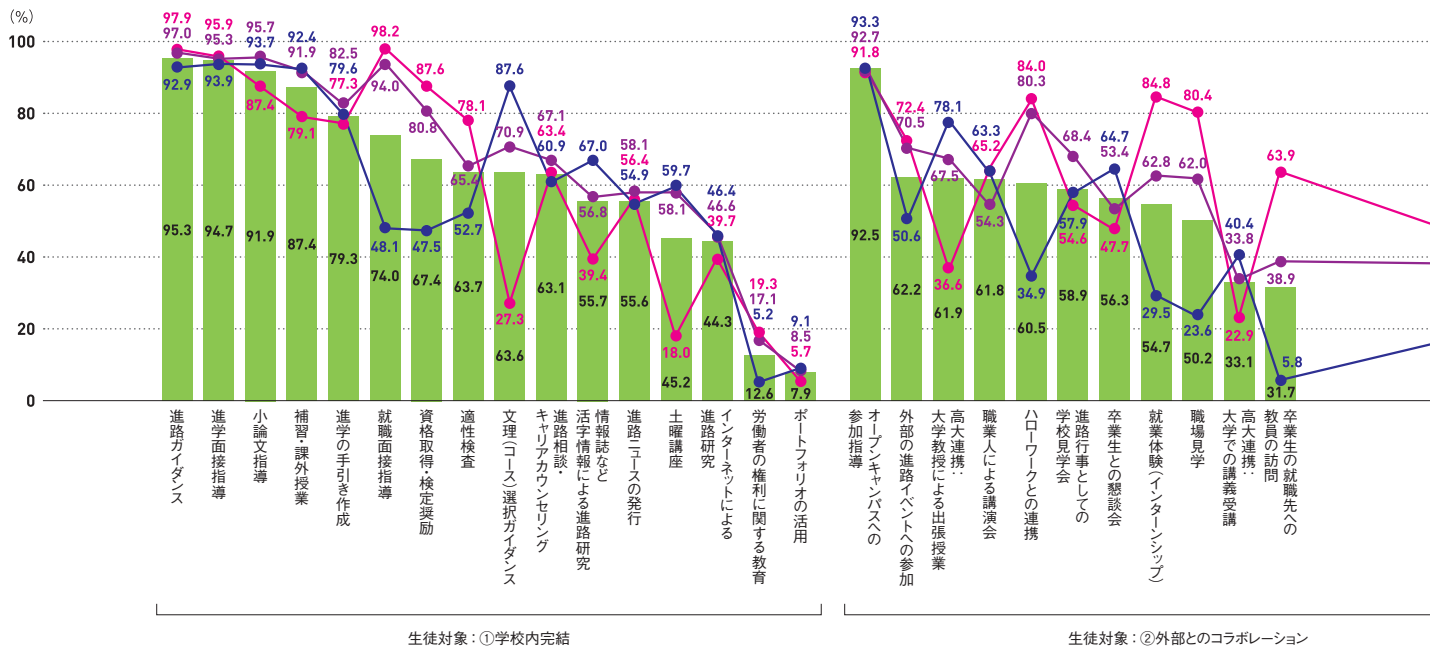


現在自校で実施している進路指導の取り組みをすべてあげてもらった(4)。生徒対象の取り組みのうち校内完結できるものでは、「進路ガイダンス」「進学面接指導」95%、「小論文指導」92%をはじめとする上位項目の顔ぶれ・実施率ともにほぼ前回同様となっている。大短進学率別に見た場合、「文理(コース)選択ガイダンス」「土曜講座」は進学率が高いほど実施率が高く、「就職面接指導」資格取得・検定奨励などは進学率が低いほど実施率が高い状況も前回同様の傾向である。

**大短進学率中位校は  
バラエティーに富む取り組み**

生徒対象のうち外部での実施や連携が必要な取り組みでは、前回同様「オープンキャンパスへの参加指導」が93%と最も高い。前回よりも実施率・順位が上昇したのは「外部の進路イベントへの参加」「高大連携・大学教授による出

図4 現在実施している進路指導の取り組み



2012年全体 (n=1179)	95.3	94.7	91.9	87.4	79.3	74.0	67.4	63.7	63.6	63.1	55.7	55.6	45.2	44.3	12.6	7.9
過去調査																
2010年全体 (n=1208)	94.5	95.0	91.0	84.6	78.0	78.6	66.9	62.7	63.0	62.4	59.2	54.4	43.4	46.2	10.5	6.7
設置者別																
国公立 (n=879)	96.2	96.0	92.2	89.1	84.8	81.3	67.9	63.4	61.9	65.1	56.1	62.8	46.3	46.4	15.5	9.2
私立 (n=294)	92.5	90.5	90.8	82.3	63.3	52.4	66.3	64.6	69.0	57.1	54.1	34.7	41.8	37.8	3.1	3.7
高校タイプ別																
普通科 (n=865)	94.8	94.7	93.3	90.6	79.4	67.5	60.6	60.5	76.6	62.7	60.8	55.8	53.1	45.4	10.1	7.7
総合学科 (n=83)	98.8	95.2	90.4	91.6	81.9	96.4	90.4	72.3	49.4	69.9	53.0	63.9	37.3	51.8	25.3	13.3
専門学校 (n=137)	96.4	93.4	87.6	69.3	78.1	97.8	91.2	83.9	3.6	58.4	27.7	53.3	6.6	32.1	21.2	8.8
2012年大短進学率別																
70%以上 (n=539)	92.9	93.9	93.7	92.4	79.6	48.1	47.5	52.7	87.6	60.9	67.0	54.9	59.7	46.4	5.2	9.1
40~70%未満 (n=234)	97.0	95.3	95.7	91.9	82.5	94.0	80.8	65.4	70.9	67.1	56.8	58.1	58.1	46.6	17.1	8.5
40%未満 (n=388)	97.9	95.9	87.4	79.1	77.3	98.2	87.6	78.1	27.3	63.4	39.4	56.4	18.0	39.7	19.3	5.7
2010年大短進学率別																
70%以上 (n=501)	91.6	93.0	92.2	91.2	80.6	53.1	42.5	50.7	88.4	59.1	68.3	54.5	60.9	44.1	6.6	7.4
40~70%未満 (n=255)	94.9	96.5	92.5	87.5	76.1	94.1	78.0	60.8	72.5	64.7	63.1	54.5	53.3	54.1	10.2	5.9
40%未満 (n=443)	97.7	96.2	88.5	75.2	76.1	98.4	88.5	77.4	28.2	64.6	46.3	54.0	17.2	43.8	15.1	6.5

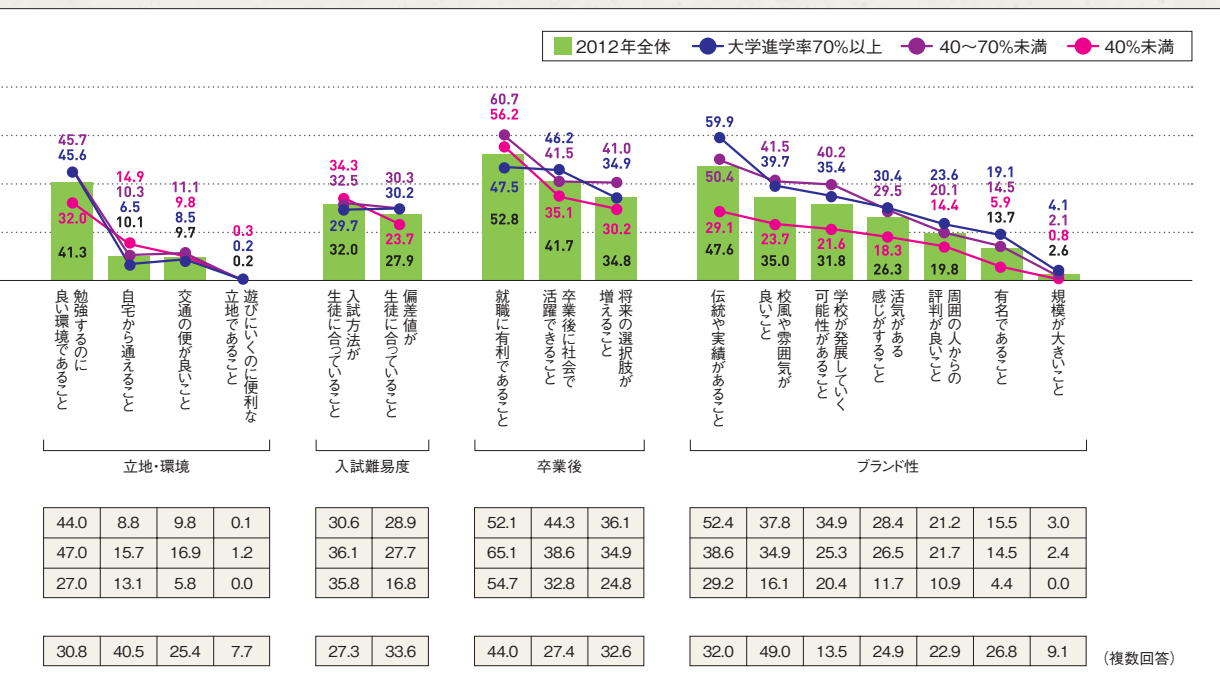
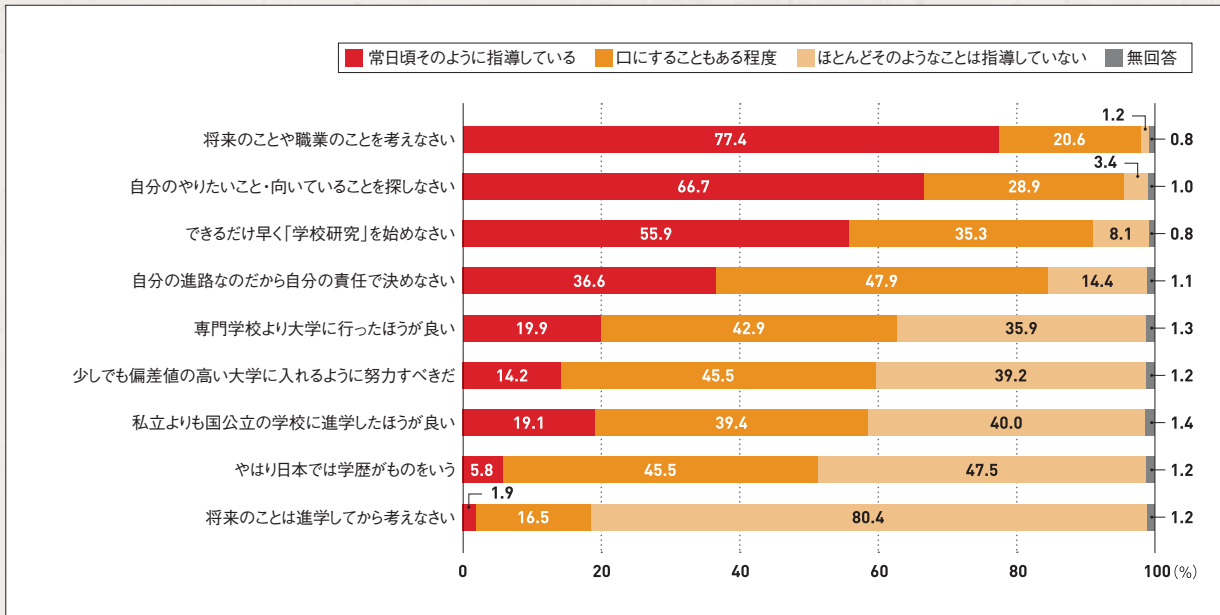
張授業」62%、「卒業生との懇談会」56%、「ボランティアなど異年齢交流」31%、「職業人インタビュー」20%、「地域の商店街などとの共同プロジェクト」13%など。大短進学率によって違いがあり、「70%以上の高校では「高大連携」など進学関連項目、「40%未満」では「ハローワークとの連携」「就業体験」「職場見学」などが8割前後と高い実施率。「40%未満」は、就職関連・進学関連とも満遍なく実施している。

**教師の「校内研修」は年々増加傾向**

保護者対象では、前回同様「三者面談」95%、「保護者向け進路ガイダンス」83%の実施率が高い。

教師対象で実施率が高いのは、「校内研修」56%、「教育委員会、教育センターなどでの研修」36%など。前回と比べやや増加したのは、「校内研修」と「民間研修」。「校内研修」は2006年時(46%)と比べると、10ポイント上がった。「校内研修」の主なテーマは、「小論文・面接指導」や「模試の結果分析」など入試関連や、「キャリア教育研修」「カウンセリング・コーチング」などキャリア教育関連など。また、「民間研修」の行き先としては「予備校主催」が多かった。

図5 進路指導で生徒に伝えること・全体



進路指導を行う際に教師が生徒に伝えていられると思われる言葉を提示し、それぞれの程度使っているかを3段階で回答してもらった(図5)。「常日頃のように指導している」の割合が最も多いのは「将来のことや職業のことを考えなさい」77%。以下、「自分のやりたいこと・向いていることを探しなさい」67%、「できるだけ早く『学校研究』を始めなさい」56%と続く。

「高学歴志向」に歯止めがかかった印象も

「常日頃のように指導している」「口にすることもある程度」と回答した合計(図6)を前回と比べると、各項目の順位は前回同様だが、前回よりも全般的にスコアは減少傾向。低下が目立ったのは「専門学校より大学に行ったほうが良い」「少しでも偏差値の高い大学に入れるように努力すべきだ」「私立よりも国公立の学校に進学したほうが良い」など。「高学歴志向」にやや歯止めがかかった印象を受ける。

合わせて高校生への回答結果も掲載した(センサス2011)。高校で受けた

図6 進路指導で生徒に伝えること・時系列比較

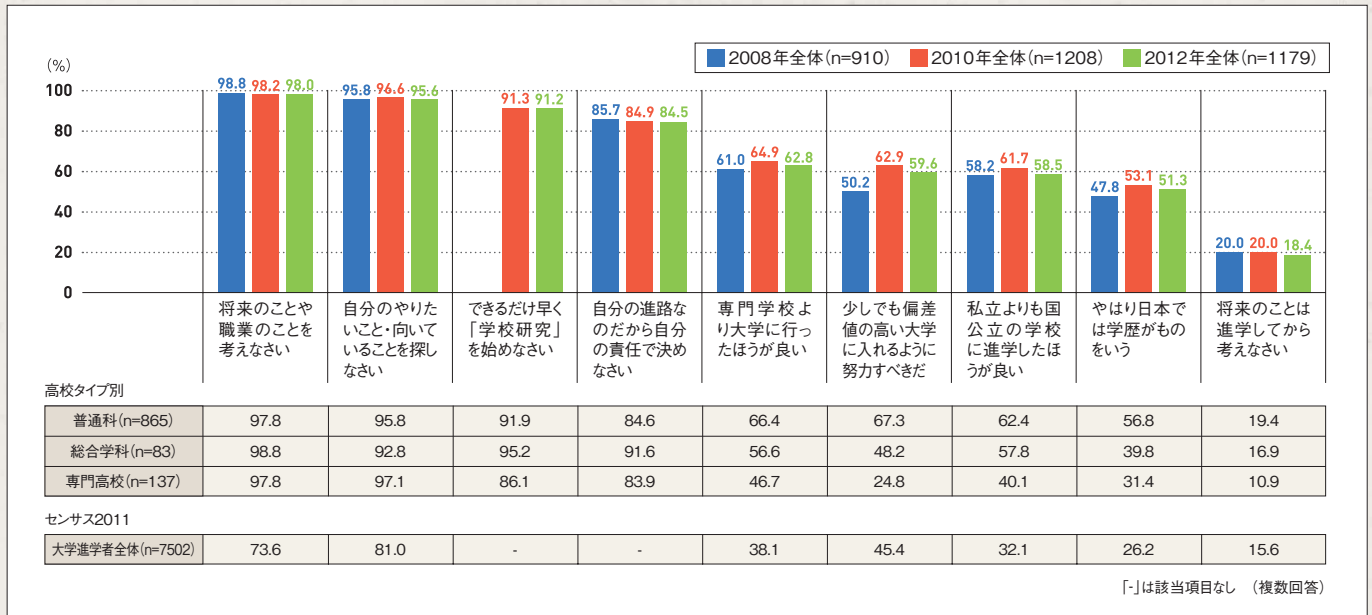
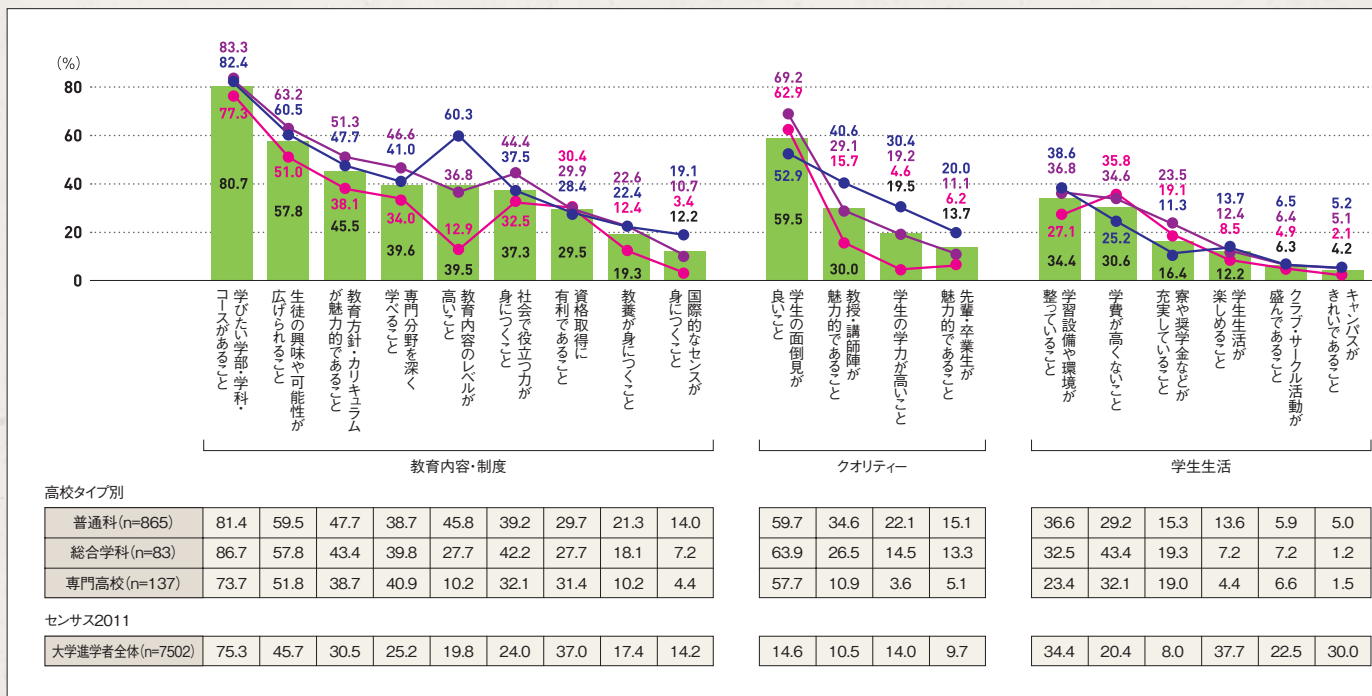


図7 進路指導時に重視する項目



進路指導内容についてたずねた結果、「自分のやりたいこと・向いていることを探しなさい」や「将来のことや職業のことを考えなさい」の回答が多いという傾向になった。

**進学先で重視する点は教師と生徒でギャップ**

また、進路指導時に大学のどのような点を重視するのかをたずねた設問では(図7)、トップは「学びたい学部・学科・コースがあること」81%、2位は「学生の面倒見が良いこと」60%。

大短進学率別の傾向をみると、進学率「70%以上」の高校は「教育内容のレベルが高い」「伝統や実績がある」「教授・講師陣が魅力」などを重視。「40%未満」は全般的に低めだ。

この設問でも高校生の回答結果を併記したが、ここからは教員と生徒の考え方の違いが見える。教員は重視するが高校生はそれほど重視していないのは、「学生の面倒見が良いこと」「教授・講師陣が魅力的であること」など。反対に高校生は重視するが教員はそれほどないのは、「自宅から通えること」「資格取得に有利であること」などだ。

図8 大学「秋入学」をどう考えるか

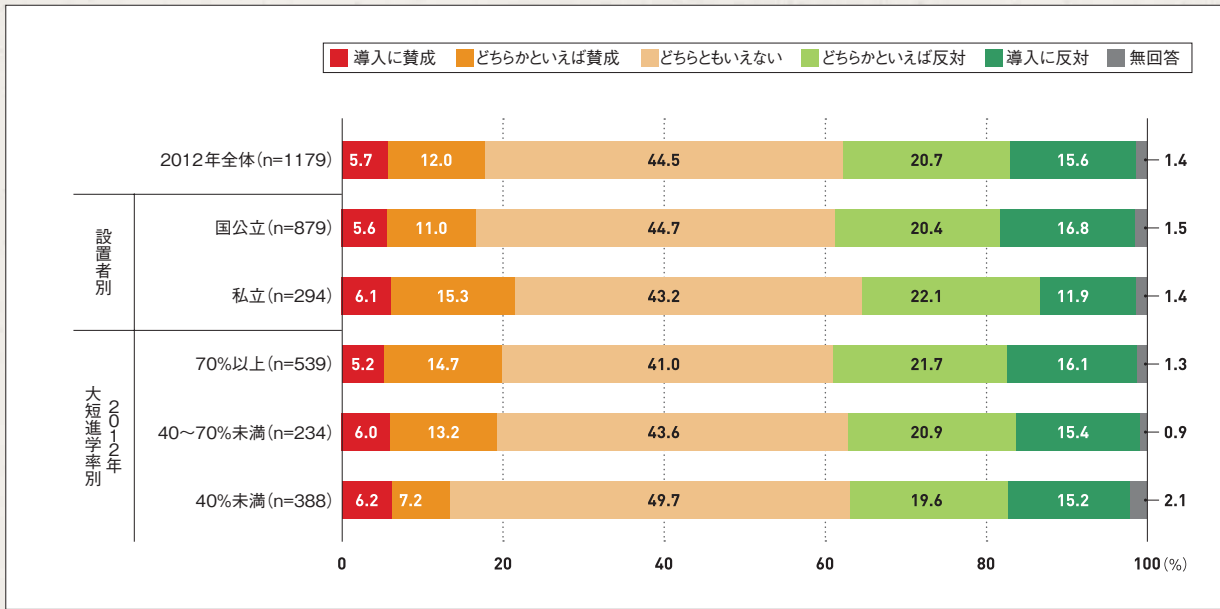
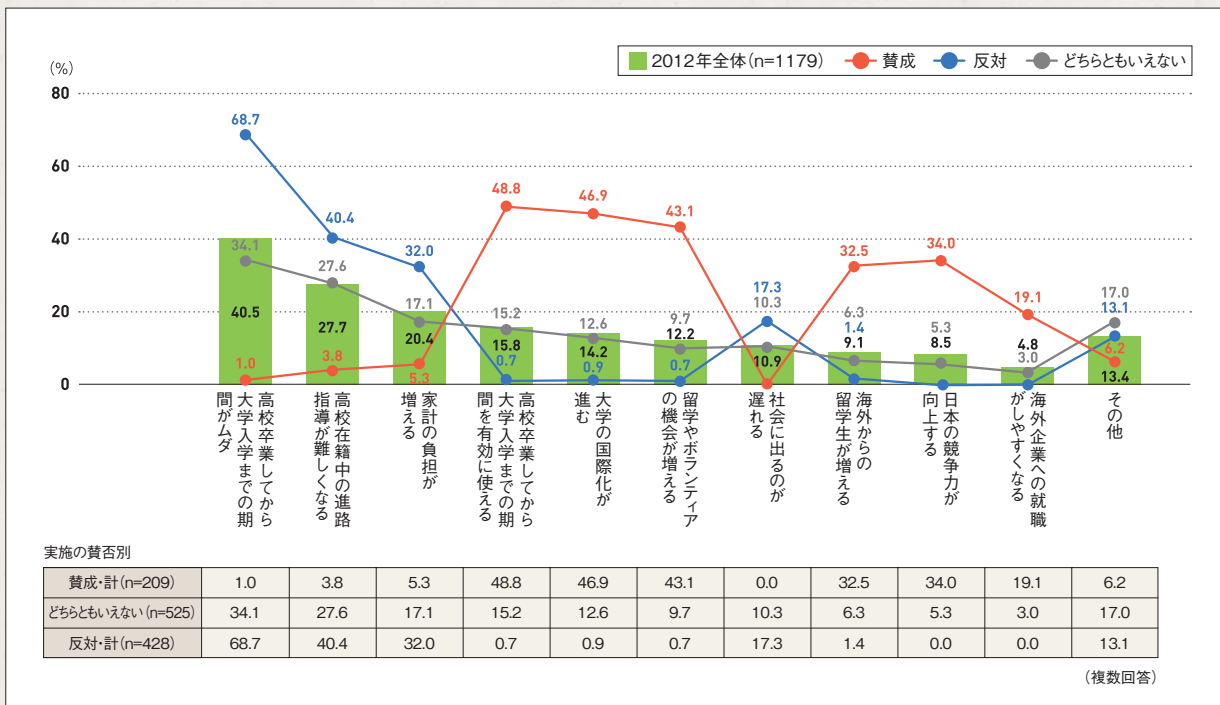


図9 大学「秋入学」賛否理由



大学の「秋入学」導入の賛否を5段階で回答してもらったところ、「導入に賛成」は6%、「どちらかといえば賛成」12%までを合わせた賛成・計は全体の18% (図8)。反対・計は36%なので、反対派のほうが多い。ただし、現時点での最多は「どちらともいえない」45%だった。設置者別にみると、国公立よりも私立、大短進学率別では進学率が高いほど賛成・計の割合が高かった。

**賛否の分かれ目は「入学までの時間」の意味**

賛否の理由 (図9) をみると、最も多いのは「高校卒業してから大学入学までの期間がムダ」(41%)。ついで「高校在籍中の進路指導が難しくなる」「家計の負担が増える」。これらは、反対層やどちらともいえない層が理由として挙げた上位3項目。賛成層は「高校卒業してから大学入学までの期間を有効に使える」が最も高く、「留学やボランティアの機会が増える」なども上位だ。高校卒業から大学入学までの期間を前向きにとらえるか後ろ向きにとらえるかで、賛否も正反対になった。